

Umbrellaダッシュボードを自動的に更新するように設定する

内容

[はじめに](#)

[Cisco Umbrellaダッシュボードがタイムアウトせずに自動的に更新されるように設定するには、どうすればよいですか。](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Umbrellaダッシュボードをタイムアウトなしで自動的に更新するように設定する方法について説明します。

Cisco Umbrellaダッシュボードがタイムアウトせずに自動的に更新されるように設定するには、どうすればよいですか。

一部のユーザから、特に全員が視聴できるようにルーム内に設定できるダッシュボードで、Umbrellaをタイムアウトせずに自動的に更新する機能を要求されました。

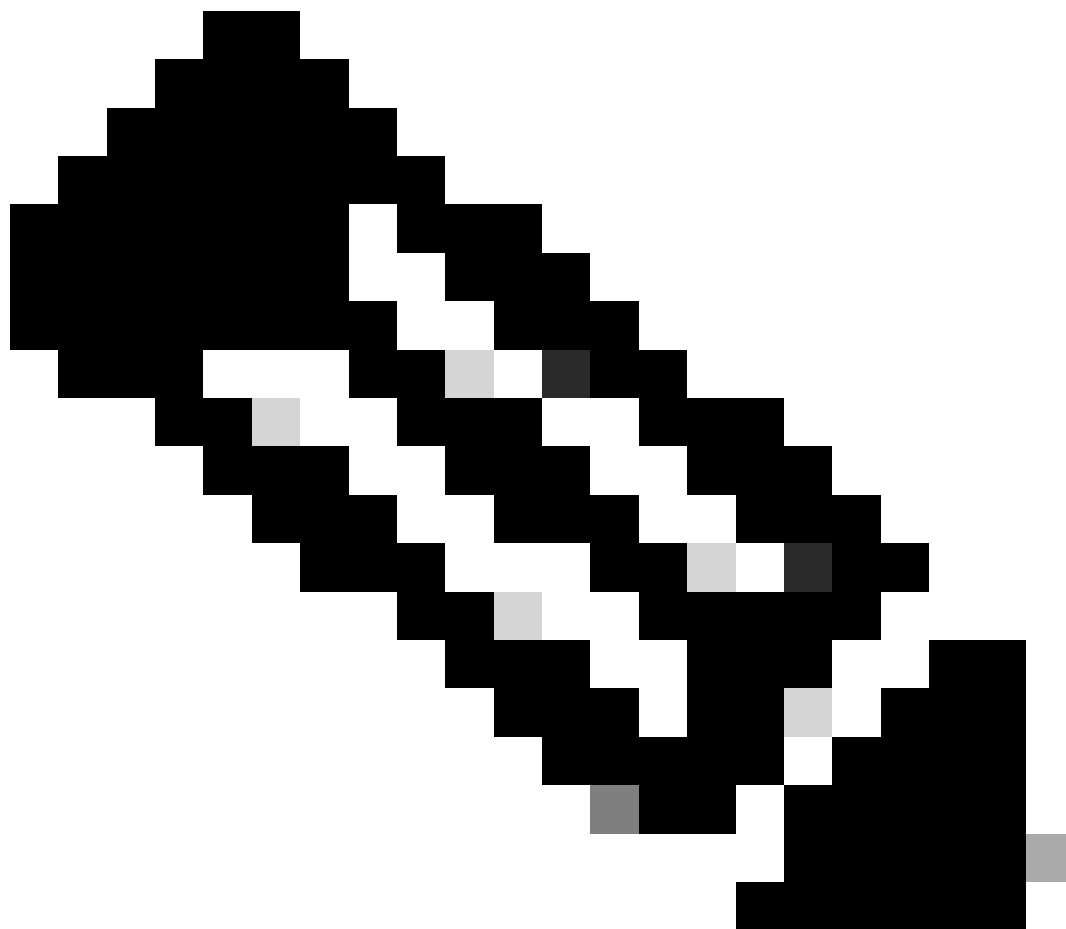
Umbrellaのレポートはリアルタイムに近いので、自動リフレッシュ機能を簡単に実装することはできません。自動リフレッシュ機能を実装すると、ユーザーが操作を集中した時点で重要な情報が見えなくなるからです。

ただし、一部のユーザや、オペレーションセンターの壁など一部のダッシュボードでは、自動更新が必要になる場合があります。

これを行うには、次の2つの方法があります。

1. ダッシュボードに対して一意のレポート専用ユーザーを作成し、これらのタイプのレポートに使用します。
2. マクロ生成プログラムまたは自動更新プラグインをインストールし、必要に応じて更新するように設定します。重要な点の1つは、レポートにはURL内のエンコードされたパラメータがあり、ほとんどの（すべてではない）レポートにはX分ごとに更新できるスライディング・タイム・スケール（「過去24時間」）があります。

たまに更新したいが、ダッシュボードの自動ロック機能が原因で要求がタイムアウトする場合は、[Umbrellaサポート](#)にお問い合わせください。



注：このようなブラウザプラグインは、Umbrellaサポートではサポートされていません。Umbrellaでは、自動化によって基本的な「更新」ボタン機能を複製する環境に適したツールを見つけることを推奨しています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。